

2020年 安全報告書



叡山電鉄株式会社

<目次>

1. ごあいさつ	3
2. 基本方針と安全目標	4
(1) 基本方針	
(2) 安全目標	
3. 事故等の発生状況	5
(1) 鉄道運転事故	
(2) 輸送障害	
(3) 電気事故	
(4) 災害	
(5) インシデント	
(6) 行政指導等	
4. 輸送の安全を確保する取り組み	9
(1) 安全重点施策	
(2) 安全教育	
(3) ホームの安全性向上	
(4) 安全性向上のための設備等の改善	
(5) その他	
5. 安全管理体制	18
6. ご連絡先	19

1. ごあいさつ

平素は叡山電鉄をご利用いただき、まことにありがとうございます。

当社は行動規範として「お客さま第一主義で安全とサービスの向上に努め、信頼の輪を広げます。」と定め、社長以下全社員が一丸となって、安全輸送及びサービス改善に取り組んでおります。

さて、令和2年7月豪雨では、沿線山間部での土砂災害の影響により、9月現在においても鞍馬線において部分運休を余儀なくされ、ご利用の皆さまに多大なご不便をおかけしております。このことを深くお詫び申し上げますとともに、自然災害の脅威が増しているなかで、減災への備えをしっかりと進めてまいります。

本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全の確保のための取り組みや実態について、自ら振り返るとともに、広くご理解いただくために公表するものです。

安全への取り組みに終わりはありません。お気づきの点などございましたら、ご意見をいただきますよう、よろしく願いいたします。

叡山電鉄株式会社

取締役社長 豊田秀明

2. 基本方針と安全目標

(1) 基本方針

当社は、安全に対する基本方針を次のように定め、社長以下従業員全員に周知・徹底しております。

- ① 安全最優先の原則のもと、常に輸送の安全確保に努め、安全適切な処置をとります。
- ② 輸送の安全に関する法令及び関連する規程類を遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
- ③ 安全管理体制を適正に運用するとともに継続的な改善を図ります。

(2) 安全目標

「有責運転事故ゼロ」

当社は2004年10月以降、有責事故ゼロを続けておりますが、これからも「有責運転事故ゼロ」を安全目標とし、事故の防止に全力で取り組んでまいります。

3. 事故等の発生状況

(1) 鉄道運転事故

鉄道運転事故は下の7種類に分類されます。

2019年度は、鉄道運転事故は発生しておりません。

◆鉄道運転事故の分類

種類	内容
列車衝突事故	列車が他の列車または車両と衝突し、または接触した事故
列車脱線事故	列車が脱線した事故
列車火災事故	列車に火災が生じた事故
踏切障害事故	踏切道において、列車または車両が道路を通行する人または車両などと衝突し、または接触した事故
道路障害事故	踏切道以外の道路において、列車または車両が道路を通行する人または車両などと衝突し、または接触した事故
鉄道人身障害事故	列車または車両の運転により人の死傷を生じた事故 (上記の事故に伴うものを除く)
鉄道物損事故	列車または車両の運転により500万円以上の物損を生じた事故 (上記の事故に伴うものを除く)

(2) 輸送障害 (30分以上の遅延や運休)

2019年度は、輸送障害が6件発生しました。

ご利用のお客さまにはご迷惑をおかけしましたこととお詫び申し上げます。

・2019年5月3日（金） 二ノ瀬駅 転てつ器故障

2019年5月3日、12時11分頃、二ノ瀬駅上り場内信号機が進行現示せず。現場を点検したところ、#28 転てつ器が反位から定位に転換しなかった。手回しでも転換不能であったため、反位側に鎖錠。二軒茶屋～鞍馬間の閉そく変更を実施し、13時10分指導指令式にて運転を再開した。

【影響】運休・部分運休 54本 列車遅延 7本（最大1時間40分）

【原因】二ノ瀬駅#28 転てつ器の歯車欠損（取替にて復旧）。

・2019年5月22日（水） 二軒茶屋駅～市原駅間 猪と接触

2019年5月22日、19時40分頃、第1972列車が市原駅～二軒茶屋駅間を走行中、突然飛び出してきた猪と接触した。車両点検ののち、19時50分頃、運転を再開した。

【影響】運休 1本 列車遅延 2本（最大9分）

・2019年8月1日（木） 八瀬比叡山口駅 転てつ器故障

2019年8月1日、15時45分頃、八瀬比叡山口駅1番線からの上り出発信号機が進行現示せず。現場を点検したところ、#12口転てつ器が定位から反位に転換しなかった。以後の列車を2番線発着とし、16時00分、運転を再開した。

【影響】運休 1本

【原因】八瀬比叡山口駅#12口転てつ器の制御リレー不良（取替にて復旧）。

・ 2019 年 8 月 15 日（木） 二ノ瀬駅～貴船口駅間 倒木

2019 年 8 月 15 日、9 時 32 分頃、台風 10 号の接近に伴い二ノ瀬駅～貴船口駅間で倒木が発生、高圧線が断線した。市原駅～鞍馬駅間を部分運休し、倒木を撤去、その後高圧線を接続し、試運転ののち 17 時 19 分に運転を再開した。

【影響】運休・部分運休 60 本

・ 2019 年 10 月 12 日（土） 二ノ瀬駅～鞍馬駅間 倒木

2019 年 10 月 12 日、11 時 18 分頃、台風 19 号の接近に伴い二ノ瀬駅～鞍馬駅間で倒木が計 4 本発生、高圧線、倒木落石検知線が断線した。市原駅～鞍馬駅間を部分運休し、倒木を撤去、その後高圧線、倒木落石検知線を接続し、試運転ののち 22 時 19 分に運転を再開した。

【影響】運休・部分運休 90 本 列車遅延 7 本（最大 29 分）

・ 2019 年 11 月 10 日（日） 元田中駅付近 車両故障

2019 年 11 月 10 日、10 時 11 分頃、第 1000 列車が元田中駅発車後、異音がしたため緊急停止。運転士により点検後、運転再開時に再び異音がしたため、後続の第 1002 列車を救援列車として推進運転を実施。出町柳駅で折り返し、牽引運転にて修学院車庫に入庫した。

【影響】運休・部分運休 9 本 列車遅延 26 本（最大 19 分）

【原因】712 号車主電動機配線絶縁不良（配線手直しにて復旧）

(3) 電気事故（感電死傷、電気火災、供給支障事故等）

2019年度は、電気事故は発生しておりません。

(4) 災害（地震、暴風雨、豪雪等による被害）

2019年度は、災害による鉄道施設または車両への被害は発生しておりません。

(5) インシデント（事故の兆候）

2019年度は、インシデントは発生しておりません。

(6) 行政指導等

2019年度は、国土交通省からの行政指導等は、ありませんでした。

4. 輸送の安全を確保する取り組み

(1) 安全重点施策

2019年度の安全重点施策を次のように定め、取り組んでまいりました。

1. 安全管理体制の確立

- ① 鉄道従事員として、職責の自覚と確実な業務の実施
- ② 規程類の確実な定着と運用
- ③ 計画的な教育・訓練の実施および部署・階層を超えたコミュニケーションの
充実
- ④ ヒヤリハット・事故の芽報告の充実と深度化

2. 安全関連投資の実施

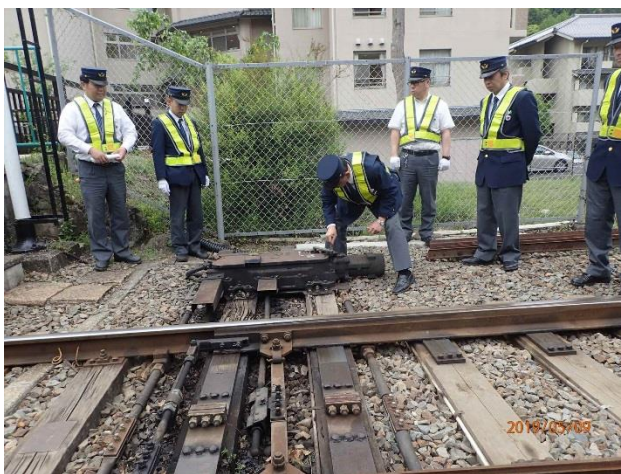
- ① 貴船口駅改良
- ② 防災対策

(2) 安全教育

お客さまの安全を確保するため、全社員を対象に各種教育訓練、業務研修会等の教育を行っております。2019年度に実施した主な教育・訓練は以下の通りです。

① 2019年5月7日～9日 転てつ器手回し訓練

転てつ器の故障時における手回し訓練を行いました。



② 2019年6月5日 修学院車庫火災消防訓練

修学院車庫における火災の発生を想定した訓練を行いました。



③ 2019年6月7日 技術課業務研修会

レール折損時の応急対応および低温軌条ボンド溶接、貨車故障を想定した連結訓練、KY（危険予知）活動の実践等を行いました。



④ 2019年6月13日～14日 京阪電鉄との運転指令合同業務研修会

京阪電鉄と合同で事故発生時の対処に関する事例紹介、意見交換等を行いました。



⑤ 2019年9月17～19日 閉そく方式変更訓練

単線区間で閉そく装置の使用不能時を想定し、代用閉そくの取扱訓練を行いました。



⑥ 2019年10月4日 総合事故復旧訓練

大雨による倒木、および土砂流入の発生を想定し、お客さま案内、設備の復旧、巡視点検、運転再開に至る全社総合的な訓練を行いました。



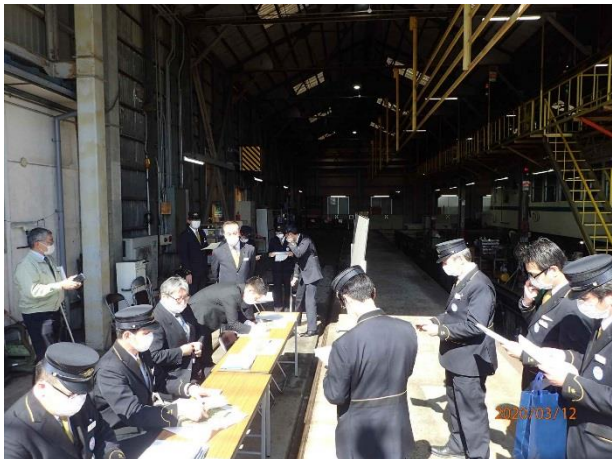
⑦ 2019年12月24日 出町柳駅火災消防訓練

出町柳駅における火災の発生を想定した訓練を駅構内店舗と合同で行いました。



⑧ 2020年3月12日 鉄道テロ対応訓練

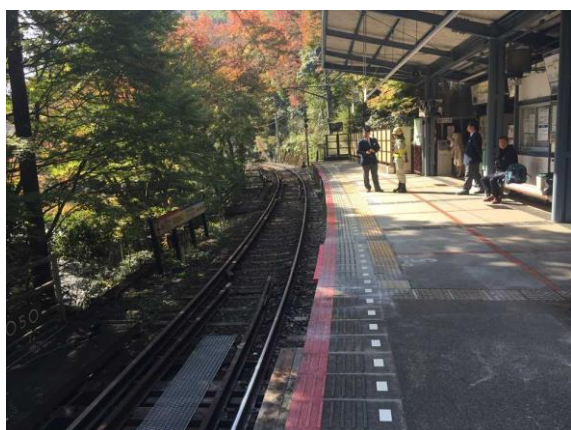
駅等におけるテロの発生を想定し、お客さま避難誘導、点検等の訓練を行いました。



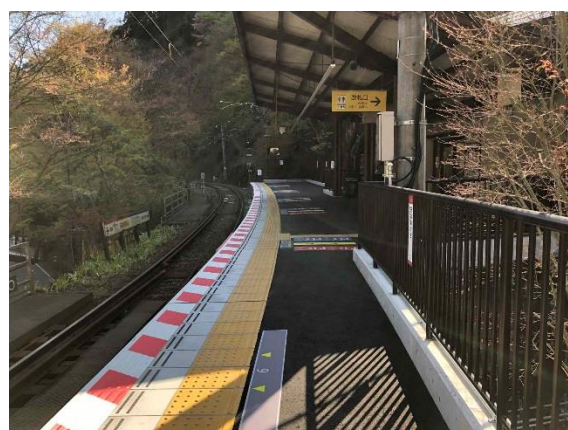
(3) ホームの安全性向上

ホームの安全性向上を目指し、各種設備の改善等を進めているほか、視覚障害のある方への「見まもり・声かけ」の強化やお客さまへの声かけ啓発を促進しています。

2019年度は貴船口駅改良工事に伴い、貴船口駅ホームに内方線付き点状ブロックおよび誘導ブロックを新設しました。また、ホーム先端部におけるCPラインを赤色一色から赤白の縞模様に改良し、視認性を向上しました。



従来 of 貴船口駅ホーム



改良後の貴船口駅ホーム

(4) 安全性向上のための設備等の改善

安全性向上のため、計画的に設備、車両等の改善に取り組んでおります。2019年度に実施した主な工事は以下の通りです。

① 貴船口駅改良

安全性と利便性の向上を目的として、ホーム幅の拡張、駅施設のバリアフリー化、トイレのリニューアル、バスとの乗り継ぎ改善等を実施しました。



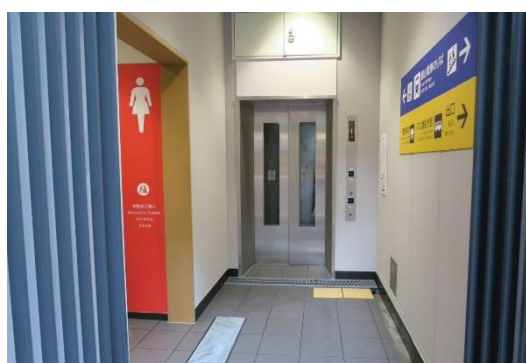
新駅舎



出町柳方のホーム幅拡張



改札口付近ホーム幅の拡張



エレベーターの新設



トイレのリニューアル



バスとの乗り継ぎ改善

② 自動放送装置設置

車内の案内放送を自動化し、運転士の取り扱い誤りの防止を図りました。

- ・ 800系、900系7編成（全編成終了）



③ 車載防犯カメラ設置

車内にカメラを設置し、運転保安向上、事故トラブルの原因究明等を図りました。

- ・ 15編成中8編成



④ 風速計増設

風の状況を常時監視し、異常気象時の迅速な対応を可能にしました。

- ・ 貴船口駅付近
（従来は宝ヶ池～八幡前一箇所のみ）



⑤ 鞍馬川河川改修工事（京都府にて施工）

鞍馬川の護岸をコンクリートで強化し、浸食による路盤崩壊防止に寄与いただきました。

- ・ 貴船口駅～鞍馬駅間（複数年工事）



(5) その他

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、駅や車両内で各種対策を実施しています。また、放送やポスターでマスク着用やテレワークの推進、会話を控えるなど予防対策の啓発を行っています。



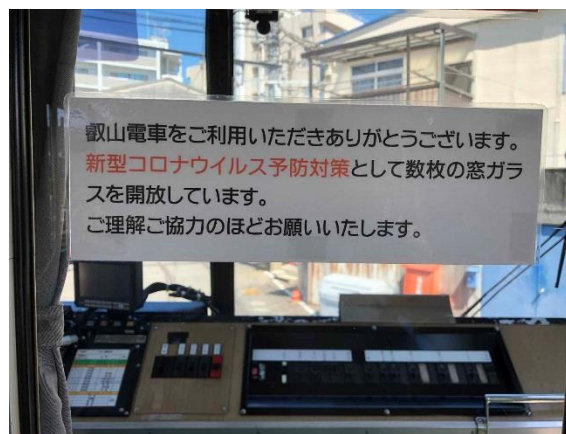
駅改札口に遮蔽シート設置



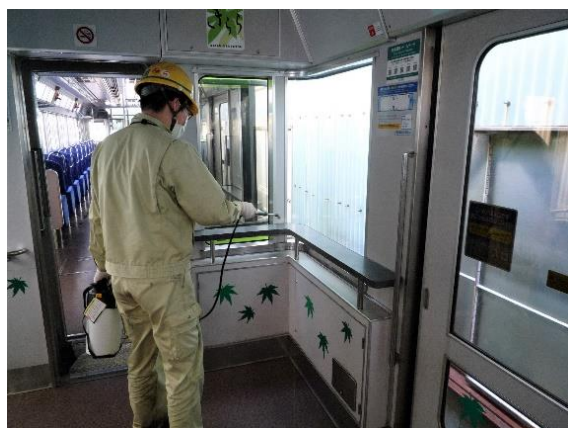
駅にアルコール消毒液設置



運転台後方に遮蔽シート設置



車内換気（窓ガラスを開放）



車内の定期的な消毒作業

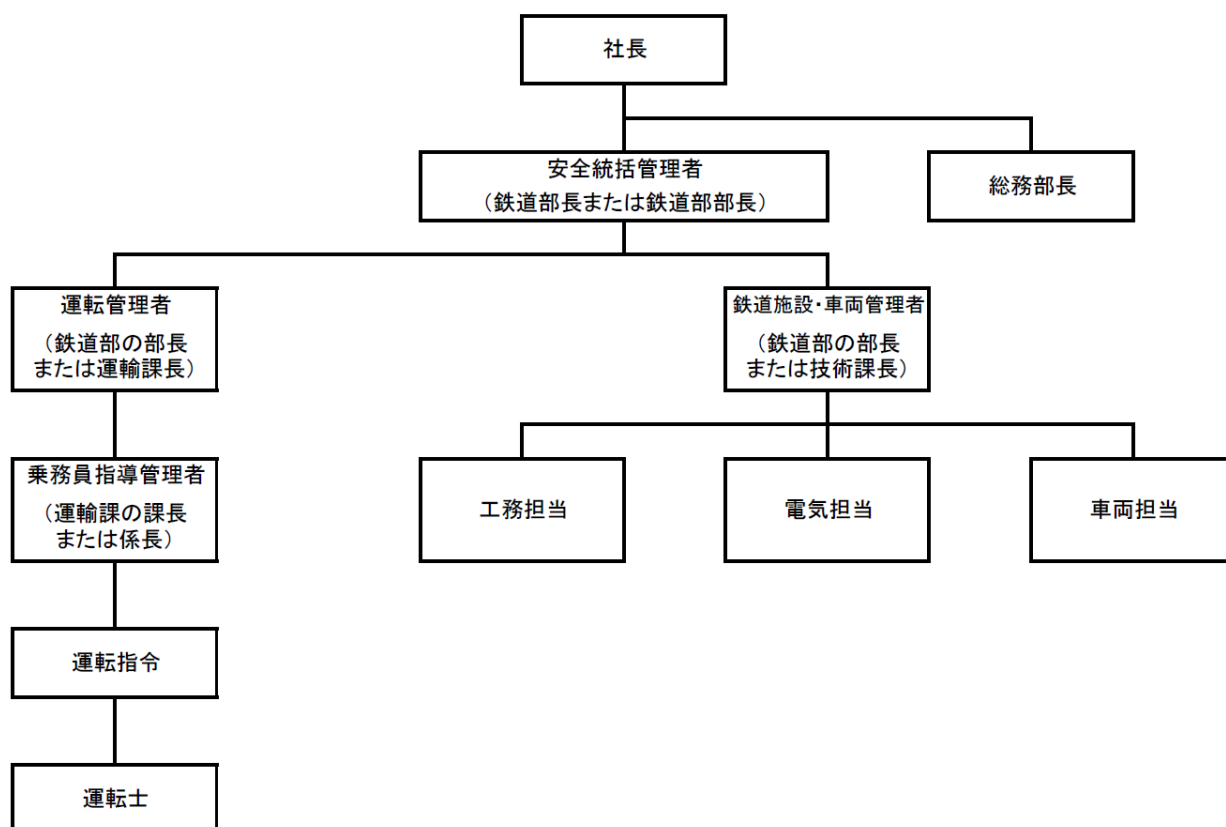


ハンドドライヤー使用停止

5. 安全管理体制

当社では、輸送の安全を確保するために「安全管理規程」を定め、社長をトップとする安全管理体制を下図の通り構築しています。

◆安全管理体制図



◆管理者などの役割

役職	役割
社長	輸送の安全の確保に関し、指示を行い最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括管理する。
乗務員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転士の資質の維持に関する事項を管理する。
鉄道施設・車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設および車両に関する事項を統括管理する。
総務部長	投資計画、予算計画、要員計画等の事項を総合的に管理する。

6. ご連絡先

安全報告書へのご感想、当社の安全への取り組みに対するご意見がありましたら以下へ
お願いします。

叡山電鉄株式会社 総務部

〒606-8007 京都市左京区山端壱町田町8番地の80

TEL 075-702-8110 / FAX 075-702-4522

※土・日・祝日と年末年始を除く 9:00~17:00